



緑肥・緑化の部屋 24

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

Q

昨年、家庭菜園で土づくりにとソルゴーを植えました。最後にはとても大きくなって、茎もかたく、刈り取り・すき込みが非常に大変でした。もっと手軽なソルゴーはないですか？

A

ソルゴーには色々なタイプがありますが、『BMR』という種類があります。これは、『Brown Mid Rib (ブラウン・ミドリブ)』の略で、茎がかたくなりにくいというものです。

一般的に、ソルゴーは出穂すると茎がかたくなり始めます。出穂が遅い『晩生』の品種であれば、やわらかい時期を長くもたせることができます。

タキイの「やわらか^{わいせい}性ソルゴー」は、茎がかたくなりにくい「BMR」品種で、しかも出穂が遅い「晩生種」。なおかつ背が低い「矮性」品種という初心者にもありがたい3特長を備えた珍しいタイプのソルゴーです。

この「やわらか矮性ソルゴー」を使えば、畑へのすき込みは難易度が低く、初心者が「こんな扱いづらいもの」と後悔するケースは少なくなるでしょう。

「やわらか矮性ソルゴー」は、

- ①草丈が1.2～1.5mと低く、扱いやすい。
- ②「BMR」品種で茎葉がやわらかいので、すき込みやすく土壌中での分解も早い。
- ③晩生で出穂が遅く、花粉がナスなどに付着してしまうことが少ない。

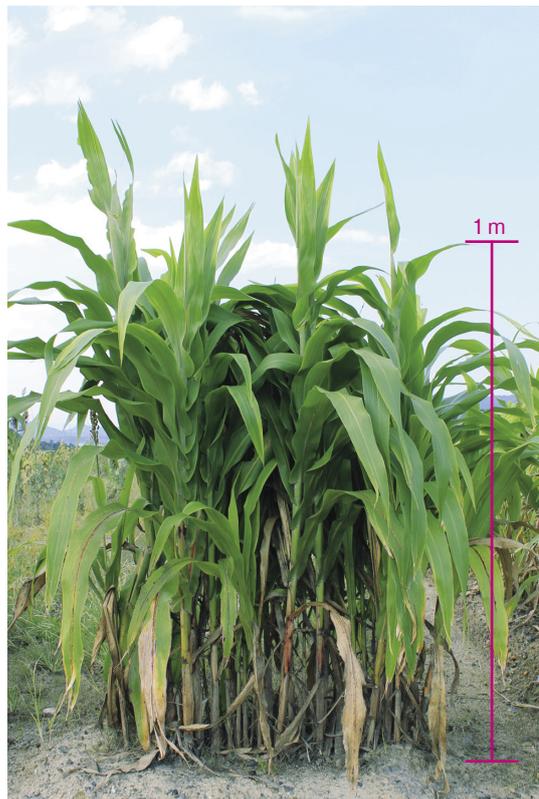
家庭菜園の少ない面積で、緑肥にソルゴーを使ってみたいという方、一度くじけた方も、「やわらか矮性ソルゴー」でもう一度挑戦してみませんか？



↑ナス圃場での使用事例。



↑茎の周囲が茶色で、やわらかい。



↑草丈低く、晩生で出穂時期が遅いので扱いやすい。

茎がかたくなりやすく、背が低く扱いやすい！

やわらか矮性ソルゴー

〈播種期〉

- ・中間・暖地：5～8月
- ・冷涼地：5～7月

〈播種量〉

10a 当たり 1～2kg

